



神戸労災病院 消化器内科

良質で心のこもった医療を働く人と地域のために

病院の特色など

神戸労災病院は新神戸駅の東1kmの閑静な住宅街に位置する、病床数360床の総合病院です。労働者安全機構の一員として、地域医療はもちろん、勤労者医療にも力を入れています。救急診療に関しては、他の内科(総合内科、循環器内科、呼吸器内科、腎臓内科、糖尿病・内分泌内科)と業務を折半しており、週2日程度の救急外来を担当しています。救急症例カンファレンスや内科系合同カンファレンスなどで症例検討を行っており、消化器系以外の疾患に関しても経験が積めるようにしています。

診療科の特色など

消化器内科は48床を担当しており、現在13名の医師が在籍しています。当科の年間入院数は約2000例前後、その6割が緊急入院であり地域の中核医療機関となっています。

2015年に内視鏡システムが一新され、現在はオリンパスの最新内視鏡システムが5光源で稼働しております。近年は特に設備の充実に力を入れており、カプセル内視鏡やシングルバルーン内視鏡、超音波内視鏡などの検査ができるようになりました。さらに2022年度には経口胆道鏡(SpyGlass™DS)を導入し、電気水圧衝撃波胆管結石破砕装置(Electrohydraulic Lithotripsy: EHL)による巨大総胆管結石の治療も可能となりました。300床クラスの病院としては有数と自負しております。

最初は指導医の先生がしっかりと付いてくださり、その期間が終わった後は上の先生方にいつでも相談しやすい雰囲気にとでも助けられています。スタッフ同士仲が良く、仕事以外の楽しい雑談や飲み会もしつつ、日中はきっちりと業務をするようなメリハリのある職場です。また手技の設備も整っており、意欲があれば早くから様々な手技に触れさせてもらうこともでき、専攻医で学ぶにあたって本当に良い病院だと感じています。後輩の皆様をお待ちしています！！

(専攻医1年目 高島 未紗 先生)

2022年度実績

EGD 件数	4508件
止血術	58件
EMR	10件
ESD	55件
CS 件数	2279例
止血術	58件
EMR/ポリペクトミー	712件
ESD	35件
ERCP 件数	351件
EUS 件数	72件
SBE 件数	4件
CE 件数	??件
RFA 件数	5件

上級医から

「See one, Do one, Teach one」の言葉のように、見て覚えて、やって覚えて、教えることでさらに自分自身も理解を深めていく。そのような互いに学び、切磋琢磨できる研修環境が神戸労災病院 消化器内科には根付いています。専攻医1年目(医師3年目)で上部消化管内視鏡検査、下部消化管内視鏡検査に加え、内視鏡的逆行性胆管膵管造影検査(ERCP)も積極的に指導しています。温かい雰囲気の中、指導医も多く、女性医師も複数名勤務しています。

(副部長 的場 是篤 先生)